

平成21年度
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム
意見交換会(関東・甲信越地区)

TAT
TAT
TAT

新しい地球人養成プログラム

—循環型社会を支える主体的学生活動の育成—

国立大学法人東京農工大学

副学長 菅尾 彰
プログラム担当 福嶋 司
農学府・教授

東京農工大学の基本理念

TAT
TAT
TAT

MORE SENSE

(Mission Oriented Research and Education giving Synergy
in Endeavors toward a Sustainable Earth)

使命志向型教育研究
—美しい地球持続のための全学的努力として—

循環型社会を主体性を持って支え、問題解決能力を持ち、
自ら考えて実行する「賢い市民」としての自覚をもつ学生
の育成

↓

「新しい地球人」の養成を目指す

取り組みの背景



修学支援

学生生活支援

経済的支援

進路・就職支援

課外活動支援

災害ボランティア(阪神淡路地震等)
ロボット研究会RUR(ものづくり)
ごみダイエットNOKO(リサイクル推進)
森づくりの会(森林保護)

経費支援・学長表彰

社会と連携した社会活動の活発化とニーズの増加

ニーズに迅速に対応できる体制作りが必要

社会的ニーズへの対応 大学の特色を活かした地域との連携



E-Mission

キャンパスの環境改善

多摩ZOO森の会

多摩動物園の森の管理

ごみダイエットNOKO

ごみの減量・環境問題

森づくりの会

森林整備作業

耕地の会

都市型農業の実践

ミニホースの会

地域住民との触れ合い

グループ化が必要

地球人養成プログラムの目的



学生活動の現状

個々の団体・個人の能力に依存し、完結

➡ 単発的で持続性に乏しい

基本理念

使命志向型教育(MORE SENSE)の実践を目指す



望まれる改善点：組織的な支援体制の確立

- ・社会的ニーズへの迅速な対応
- ・支援体制の充実
- ・活動成果とノウハウの蓄積・共有化
- ・活動団体間の交流促進・連携

地球人養成プログラムによる支援体制



学生活動支援センターの設置

学生活動支援協議会

- 支援体制の検討
- 活動計画の調整、支援、助言
- 活動成果チェック
- 公開シンポジウムの開催

構成員

副学長・コーディネータ・教員・学生・職員

学生活動支援センターの活動

地域社会と連携強化・迅速対応

サークルのグループ化：連携・活性化

地域に貢献する学生の**個別的・自主的**な活動支援

地球人養成プログラムが目指すもの



- ・コーディネータと学生間の情報共有
- ・活動企画コンテストによる萌芽的活動の発掘

➡ **社会的ニーズ・学生ニーズに迅速対応**

- ・活動の活性化と支援経費の効果的配分

➡ **組織化による学内資源の効率的利用**

- ・学生の横断的交流、社会との交流を通じたリーダーシップ
- ・企画・立案力の養成
- ・コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上

➡ **人間力と循環型社会を支えるリーダーの育成**

地球人養成プログラムの活動



活動企画コンテスト

新たな活動の萌芽を発掘

- ・学生が企画、提案、実施、評価を体験
 - ➡ 活動力の養成
- ・プロジェクト遂行、継続、発展
 - ➡ リーダーシップ発揮
- ・成果報告会で活動アピール
 - ➡ コミュニケーション能力養成

2009.TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY

新しい地球人をつくるプロジェクト2009募集!

助成金
1企画：50万円
(上限)
個人でも団体でも応募可能

あなたにも を変えられるはず!

自主的で創造性に富んだ学生主体の企画を募集します。
環境、農業、ものづくり、地域活性、福祉などを基本としたもや既存のサークル活動を発展させたものなど、あなたのアイデアを実現させてみませんか?

◎ 応募条件
・農工大生(学部、院生)が中心となって活動しているグループを個人
・活動の趣旨が特定の施設、学級、学部に属していないこと

◎ 応募期間
2009年1月15日(木)～3月10日(火)

◎ 応募方法
企画申請書(学生生活協賛センター)で受け取るか、あひらセンターのホームページからダウンロードし、学生生活協賛センターへ送付してください。選考の上、助成金額を決定します。

※「新しい地球人をつくるプロジェクト」は、文部科学省が「新たな社会的ニーズに対応した学生主体のプログラム」に採択された「新しい地球人養成プログラム」の一環として実施されるものです。
URL: <http://www.tuat.ac.jp/kabudo/index.html>
TEL: 042-387-5255 (総機) Mail: thai@post.tuat.ac.jp (総機)
042-387-7891 (学生会) studinfo@post.tuat.ac.jp (学生会)

詳細は学生生活協賛センターまで

企画コンテスト「新しい地球人をつくるプロジェクト2008」



採択プロジェクト

- 1 @ジャグ ジャグリングパフォーマンス
- 2 落語は寄席
- 3 君も一日エンジニア！
- 4 黒森小麦でもりもり計画
- 5 サマースクール in 久米島
- 6 クッキーだけどモチツとな！？～キモチ循環型社会へ～
- 7 新潟県松之山における援農及び過疎地域活性化
- 8 東京農工大学ヤギさんプロジェクト
～観て触れて感動そして共感へ～
- 9 省エネ普及促進キャンペーン

企画コンテスト「新しい地球人をつくるプロジェクト2009」



採択プロジェクト

- 1 よりよい情報保障をめざして～学びたいを支える会amitieができること～
- 2 ごみダイエットNOKO
- 3 TAT-SPORTAによる地域防災プラン
- 4 ミニホースの会～ちっちゃくても馬なんです～
- 5 黒森小麦でもりもり計画
- 6 学内スポーツ講座「乗馬科目」の開催(馬術部)
- 7 ウィンタースクール
- 8 ひばり福祉会×農工大“ほっこり”クッキープロジェクト'09～キモチ循環型社会へ～
- 9 それ行けヤギさん～オトナの心、コドモの心、ヤギの心～
- 10 農工大 リハビリケージ・プロジェクト
- 11 英語学習のきっかけとしてのTOEIC学習
- 12 ふれて遊ぼうものづくり
- 13 まちを元気に！市民参加の江戸東京野菜逸品料理コンテストプロジェクト
- 14 Formula-SEA Project TUAT Formula
- 15 初心者のためのパソコン講習会

ごみダイエットNOKOの活動



学園祭での活動

- ・模擬店でのごみ回収・分別
- ・非木材紙トレイの使用
- ・生ごみの堆肥化

環境啓発活動

- ・エコレンジャーショー



新入生のためのリサイクル市

- ・卒業生、市民からの家具家電
自転車等の提供
- ・リヤカーでの収集
- ・新入生への格安価格で提供

協力者約120名
物品数約500点

➡ 新入生約120名が利用

TAT-SPORTA(防災ボランティア)の活動



消火訓練

- ・学園祭の模擬店代表者を
対象に実施
- ・参加学生約70名
- ・消化器の設置場所の確認
- ・消化器の使用体験

非常食試食会

- ・学内に備蓄してある
非常食を試食体験
- ・学生・教職員約200名参加



救急救命講習会

- ・合宿遠征前の夏休みに実施

体育系サークルを中心とした
防災ボランティア組織をセンターが
支援して立ち上げ



ものづくりサークルの組織的活動



ロボット研究会
航空研究会
TUAT-Formula
TEAM ENELAB

グループとして協働

“君も一日エンジニア！”

理科離れの進む中高生を対象に、4サークルが合同して「ものづくり」の楽しさを伝える企画

組織化をセンターが支援



福生市田園児童館まつりへの参加



小金井市で開催された「科学の祭典」に参加し展示と実演

企画コンテスト「新しい地球人をつくるプロジェクト」活動報告会



活動報告会 ……実施・評価を体験



学生の声(アンケートより)



自分達の自主性や創造性が発揮出来る貴重なプロジェクトだと思う

仲間同士の繋がり・連携の難しさを学んだ

助成を受けたイベントを企画・運営していく中で、精神的に鍛えられた

プレゼンや報告会で、自分達の活動ややってきた事の成果を多くの人に伝えるのは難しい

自分達がやっている活動を社会にどう生かせるかを考える良い機会となった。

世の中を変えるような画期的な活動に発展して行って欲しい

地域や企業とのやり取りの中で、社会の構造を垣間見る事が出来た

ゴーヤによる壁面緑化活動



- ・府中市教育委員会・NPO法人PFSからの要請
- ・センターが窓口となって調整・支援
- ・学生・教職員の協力
- ・府中市の公立小中学校（33校）にゴーヤによる壁面緑化を実施



研究室の協力による苗の栽培・育成



学生ボランティアによる支柱・ネット張り



植栽後の管理指導と成長調査への支援

環境・地球温暖化問題への啓発、子どもたちの食育を推進

府中市子ども体験企画「農工大で触れよう！学ぼう！体験しよう！」



- ・府中市からの要請を受け、センターが企画をコーディネート
- ・各サークルが、環境・動物をテーマに独自のカリキュラムを組む
- ・学生が講師になり府中市の小学生と触れ合う



ヤギ研究会



ねいちゃー組



ミニホースの会



農工やさい塾

既存のサークル活動を社会貢献活動に発展させる効果

NPOボランティアまつりへの参加



運営協力・生産物の販売



ゴミの分別回収作業
【ごみダイエットNOKO】



黒米の販売
【耕地の会】

サークルのグループ化をセンターが支援
大学と自治体との協力関係の推進
自ら考えて行動する学生の育成

外部評価委員会の設置



- 毎年度末に学外者を含む評価委員会を設け、点検・評価
- 評価項目
 - プログラムの運営・事業計画に関する事項
(センターの組織・活動、支援協議会活動)
 - 各サークル活動、コンテスト採用団体の活動評価



自己点検評価の実施

評価

- ・学生の課外活動の活発化が進んでいる
- ・近隣の自治体と大学の連携強化が進んでいる

課題

- ・学生の活動を教育研究活動にどう活かしていくのか
- ・GP終了後の学生支援活動のあり方の検討が必要

今後の展望



センターの活動の継続

- センターと協議会の維持と発展
- センターの支援体制のあり方の検討

学生の自主的活動に対する経済的支援の継続と充実

- 自主的活動に対する支援
- 新たな萌芽的活動の発掘・支援
- 組織化への支援